

まどまりに気をつけて読み、いろいろな遊びのしよかい文を書こう。

() 月 () 日 () 時間目 名前 ()

「言葉で遊ぼう」 小野 恭靖 文

よ 「言葉で遊ぼう」の説明のひみつを見つけてよう。

「問い」と「答え」が、どこにどのように書かれているか見つけよう。

はじめ
① みなさんは、しりとりや早口言葉で遊んだことがありませんか。これらは、古くから多くの人に親しまれている言葉遊びです。言葉遊びには、ほかにどのようなものがあるのでしょうか。また、どのような楽しさがあるのでしょうか。

② いた音や同じ音の言葉を使って文を作るのが、しゃれです。たとえば、「ふとんがふとんだ。」「イクラはいくらだ。」「ふとんが、食べ物。」「ふとんと「ふつとんだ。」「や、食べ物の「イクラ」と数やねだんをたずねる「いくら」のように、いた音や同じ音の言葉を使って作られます。言葉には、いた音や同じ音があっても、意味がちがうものがあります。しやれには、言葉のもつ音と意味とを組み合わせるといふ楽しさがあるのです。

③ 上から読んでも下から読んでも同じになる言葉や文が回文です。回文には、「きつつき」や「しんぶんしたわ」。のような短い言葉もあれば、「わたしたわしわたしたわ」。の長い文のものもあります。回文は、自分で作ったりする楽しさがあります。回文は、長くなればなるほど、作るのがおもしろくなります。たどきのうれしさも大きくなります。

④ 言葉を作っている文字のじゅんばんをならべかえて、「べつ」の言葉を作るのがアナグラムです。たとえば、「とけい」をならべかえると、「けいと」といふ言葉ができます。実がつく木」といふひとまとまりの言葉がちがう意味の言葉を作る楽しさがあるのです。

⑤ このように、言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びをするのには、それぞ利用できる言葉だけ、広い場所はいりません。ふだん使っている言葉だけでも、おもしろい時間を作ることができます。言葉遊びをおもしろさにふれてきました。あなたも、言葉遊びを楽しんでみましょう。

今日のかえり

今日の学習のまとめ

「言葉で遊ぼう」の説明のひみつをみつけることができたか。

★学習の進め方

- ① 二つ目の「問い」に赤線を引く。
- ② 一つ目の「問い」の「答え」を赤でかこむ。
- ③ 二つ目の「問い」の「答え」に青で線を引く。
- ④ 「問い」や「答え」がどのまどまりに書いているか話し合って書く。

「問い」や「答え」がどのまどまりに書いているか話し合って書こう。

| おわり | 中 | はじめ |
|-----|---|-----|
| | | |

段落

文章を組み立てているまどまりは、はじめを一字下げて表す。

ほかにも見つけたひみつがあったら書いてみよう。

今日の学習の流れ

文しょうを読む。

【一人でタイム】「問い」と「答え」に線を引く。

【グループタイム】かくにんして、「問い」と「答え」がどのまどまりにあるか話し合う。

【みんなでタイム】説明のひみつについて話し合う。

【一人でタイム】学習のまとめをする。

今日の学しゅうをふりかえる。